

学生便覧 2023年度
B2023-7

メディア学部

メディア情報学科

履修の手引と手続き

<小目>

I	ディプロマ・ポリシー	2
II	カリキュラム・ポリシー	2
III	授業科目について	3
IV	授業科目の単位と認定	3
V	卒業に必要な単位について	3
VI	進級条件及び履修上限について	3
VII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	5
	1. 全学部共通基盤科目群	5
	2. メディア共通科目群	9
	3. キャリア形成科目群	9
	4. 専門基礎科目群	10
	5. 専門科目群	11
	6. 特設科目群	16

履修の手引と手続き

I ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

メディア学部 メディア情報学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（メディア情報）の学位を授与します。

1. メディアと情報の双方について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. メディア産業の現状と変化についての理解に基づき、適切かつ戦略的に自身のキャリアをデザインすることができる。
3. 社会人として必要な協調性を身に付け、集団で作品を生み出す作業に関する知識と経験を活かして、実践的に行動することができる。
4. 習得した技術や抽象概念を言葉やカタチに具現化する能力を身に付け、さらに文化的または経済的価値を付加することができる。
5. グローバル化と多様化が一層進展する社会を捉える視点を身に付け、国内外を問わず幅広く活動することができる。
6. 正答の無い課題を解決する能力と未だ存在しないものを新たに創造する能力を身に付け、クリエイティブな活動に自発的に取り組む向上心とチャレンジ精神を持って行動することができる。

II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

メディア学部 メディア情報学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、メディアとテクノロジーが共進化し、グローバル化と多様性が急速に進展する時代において、クリエイティビティを持って活躍できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. クリエイティビティの基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. コースあるいは専門分野の選択にかかわらず、共通して必要な基礎知識・技能を学ぶため、メディア共通科目群を設置する。
3. メディア産業での就職及び競争力の獲得を目指し、卒業後の社会生活の充実、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成をはかり、主体的・自律的な学修方法を修得するため、ポートフォリオ作成を含むキャリア形成科目群を設置する。
4. 専門分野の基礎知識を身に付けるとともに、より広い視野からメディアと情報について考えるため、専門基礎科目群を設置する。
5. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目群Ⅰを設置する。

【ニューメディアコース＜東金キャンパス＞】

メディアアーツ、メディアテクノロジー、メディアデザインの3分野に関する知識・技能を学び、作品作りを通して各々の専門性を身に付けるため、映像、サウンド、メディアサイエンス、プログラミング、アート、デザインなどについて学ぶ科目を設置する。

メディアアーツ、メディアテクノロジー、メディアデザインの3分野の横断的な学びを通して、柔軟性（フレキシビリティ）、機動性（モビリティ）、創造性（クリエイティビティ）、多様性（ダイバーシティ）を持って、新たな表現を生み出す力を身に付けた人材を育成するための科目を設置する。

【映像芸術コース＜紀尾井町キャンパス＞】

- ・映像演出、映像技術、映像美術、アニメーション・CG、サウンド・音楽、ステージ、芸能、エンタテインメント・ビジネスの8分野について実践的に学ぶため、講義及び演習・実技・実習の科目を設置する。
- ・講義の科目では、8分野の専門知識の習得を目指し、演習・実技・実習の科目では、各分野の知識を裏付けとする論理的思考の高度化を目指す。
- ・変化するメディア産業において、クリエイティブに活躍できるリーダーを育成するため、各分野のビジネスの現状と今後について学ぶ科目を設置する。

6. 専門的な知識の応用と実践をはかるため、ゼミ研究・実践に関する科目で構成する専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）を設置する。
7. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

Ⅲ 授業科目について

メディア学部メディア情報学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、メディア共通科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰ・Ⅱ（ゼミ研究・実践）で形成する。

Ⅳ 授業科目の単位と認定

本学は単位制を採用している。単位制とは、ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験もしくはその他の方法により学修評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位の認定は、S・A・B・C 4段階の評価により行い、F評価は単位を認定しないものとする。なおN・Hは、単位振替により単位を認定したことを表す。

Ⅴ 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は、次の表に示すとおりである。

系列	学部・学科	メディア学部 メディア情報学科
	必要修得単位数	
全学部共通基盤科目群	20	
メディア共通科目群	11	
キャリア形成科目群	9	
専門基礎科目群	18	
専門科目群Ⅰ	18	
専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）	12	
指定された科目群より修得した科目以外に上記全ての科目群、または他学部（経営情報学部・国際人文学部・福祉総合学部）の科目より選択必修 ※ただし、他学部の科目で履修可能な単位は 20 単位を上限とする。	38	
計	126	

Ⅵ 進級条件及び履修上限について

2年次に進級するためには、必修科目4単位以上を含め、16単位以上を修得しなければならない。3年次に進級するためには、1年次の必修科目を含め、46単位以上を修得しなければならない。ただし、1年次の未修得必修科目が2科目以下の者については進級を認めることがある。4年次に進級するためには、84単位以上を修得しなければならない。

ニューメディアコース（メディアアート・メディアテクノロジー・メディアデザインの3分野）では、それぞれの専門領域に関連する授業科目を、メディア共通科目群、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰ、Ⅱ（ゼミ研究・実践）の中から自由に組み合わせて4年間で学んでいく。映像芸術コースの8つの分野（映像演出、映像技術、映像美術、アニメーション・CG、サウンド・音楽、ステージ、芸能、エンタテインメント・ビジネス）から、主分野と必要に応じて副分野を選び、それぞれの専門領域の授業科目を、メディア共通科目群、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰ、Ⅱ（ゼミ研究・実践）の中から選択し4年間で学んでいく。

ニューメディアコースと映像芸術コースにおいては、受講するキャンパスが異なるので注意が必要である。

また、履修登録できる単位数は、年間で原則42単位以下（2年次のみ46単位）である。ただし、GPAが2.0以上の場合、年間49単位まで履修を認める。

〈年次別で修得することが望ましい単位数の目安〉

学年	単位数の目安
1 年次	全学部共通基盤科目 Fundamentals of English I・Oral Fluency I …………… 2科目4単位（必修） 日本語Ⅰ・日本語Ⅱ（外国人留学生・帰国生必修）…………… 2科目4単位（必修） アカデミック・スキルズ…………… 1科目1単位（必修） デジタルアプリA…………… 1科目2単位（必修） メディア共通科目群 メディア概論A…………… 1科目2単位（必修） デジタルメディアA・デジタルメディアB…………… 2科目4単位（必修） キャリア形成科目群 基礎ゼミⅠA・基礎ゼミⅠB・基礎ゼミⅠC…………… 3科目3単位（必修） ※指定された各科目群より修得した科目以外に 24 単位
2 年次	全学部共通基盤科目 日本語科目（外国人留学生・帰国生必修）…………… 1科目2単位（選択必修） キャリア形成科目群 基礎ゼミⅡA・基礎ゼミⅡB・基礎ゼミⅡC・基礎ゼミⅡD…………… 4科目4単位（必修） ※指定された各科目群より修得した科目以外に 40 単位
3 年次	専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践） プロジェクト研究A・プロジェクト研究B…………… 2科目4単位（必修） ※指定された各科目群より修得した科目以外に 24 単位
4 年次	専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践） プロジェクト研究C・プロジェクト研究D…………… 2科目4単位（必修） ※指定された各科目群より修得した科目以外に 10 単位
卒業に必要な修得単位数 126 単位	

Ⅶ 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

全学部、全学年の学生を対象として設置される科目である。各学部の専門の学びの基盤となる文理の壁を越えた幅広い教養を身に付けることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
全学部共通基盤科目群	Fundamentals of English I	②				20 単位	本科目群では、必修科目を含み、20 単位以上修得のこと。 ただし、外国人留学生・帰国生は、「Fundamentals of English I」「Oral Fluency I」の代わりに「日本語 I」「日本語 II」および、「統合日本語 I」から「社会と文化の日本語 B」までのの中から、1 科目 2 単位以上を修得のこと。 「日本語 I」から「社会と文化の日本語 B」までの 8 科目は、外国人留学生・帰国生のみが履修できる科目である。
	Fundamentals of English II	2					
	Oral Fluency I	②					
	Oral Fluency II	2					
	TOEIC Preparation A	2					
	TOEIC Preparation B	2					
	TOEIC Preparation C	2					
	TOEIC Preparation D	2					
	English for Specific Purposes A	2					
	English for Specific Purposes B	2					
	English for Advanced Studies A	2					
	English for Advanced Studies B	2					
	日本語 I	②					
	日本語 II	②					
	統合日本語 I	2					
	統合日本語 II	2					
	日本語アカデミック・ライティング	2					
	日本語アカデミック・スピーキング	2					
	社会と文化の日本語 A	2					
	社会と文化の日本語 B	2					
	中国語 I	2					
	中国語 II	2					
	韓国語 I	2					
	韓国語 II	2					
	スペイン語 I	2					
	スペイン語 II	2					
	ドイツ語 I	2					
	ドイツ語 II	2					
	フランス語 I	2					
	フランス語 II	2					
	ハンガリー語 I	2					
	ハンガリー語 II	2					

〔備考〕

- (1) Fundamentals of English II, Oral Fluency II を履修するためには、履修前提条件として、それぞれの I を修得していなければならない。
- (2) 第二外国語において、II を履修するためには I の単位を修得していなければならない。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
全 学 部 共 通 基 盤 科 目 群	ハンガリー語 I	2				20 単位	
	ハンガリー語 II	2					
	ポーランド語 I	2					
	ポーランド語 II	2					
	チェコ語 I	2					
	チェコ語 II	2					
	アカデミック・スキルズ	①					
	デジタルアプリ A	②					
	デジタルアプリ B	2					
	情報社会と情報倫理	2					
	人工知能論	2					
	インターネット配信	2					
	コミュニケーションの基礎	2					
	現代史入門	2					
	映像メディア史	2					
	音楽史	2					
	マーケティング論	2					
	広告戦略論	2					
	社会学	2					
	著作権	2					
	表象文化研究	2					
	演劇研究	2					
	古典芸能研究	2					
	スポーツ科学(ダンス)IA	1					
	スポーツ科学(ダンス)IB	1					
	しゃべりのスキルUp I	2					
	情報セキュリティ A	2					
	データサイエンス I	2					
	データサイエンス II	2					
	西洋美術	2					
	心理学	2					
	基礎の数学	2					
	ジェンダー論	2					
	SDGs×大学生	1					
	データ分析の基礎(解析)	2					
	データ分析の基礎(線形代数)	2					

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
全学部共通基盤科目群	自然科学概論	2				20 単位	
	生命現象の理解とその応用－生命科学	2					
	環境科学	2					
	食環境論	2					
	香りと環境	2					
	統計学		2				
	身体の理解	2					
	生物からみた環境の仕組み－生態学	2					
	エリアスタディーズ A	2					
	エリアスタディーズ B	2					
	観光の現在と未来	2					
	ヘルスツーリズム	2					
	社会心理学	2					
	生活と文化		2				
	生涯スポーツ概論	2					
	スポーツ社会学	2					
	ボランティア論	2					
	国際日本学	2					
	史学概論	2					
	日本の歴史 A	2					
	日本の歴史 B	2					
	西洋史概論	2					
	アジア史概論	2					
	人類とモノづくり	2					
	房総の文化と歴史	2					
	科学史	2					
	政治学入門	2					
	国際関係論		2				
	経済学入門	2					
	経済原論 A	2					
	経済原論 B	2					
	社会と経営	2					
	社会と会計	2					
	社会調査		2				
	法律学概論	2					
	日本国憲法	2					
	民法 A		2				

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
全学部共通基盤科目群	商法		2			20 単位	
	社会福祉学 A	2					
	社会福祉学 B		2				
	経営情報基礎論 A	2					
	地理学 A	2					
	地理学 B	2					
	世界遺産のいま	2					
	美学・芸術学	2					
	日本の現代文化	2					
	日本の伝統文化	2					
	日本文学概論	2					
	日本の文学(古典)		2				
	日本の文学(近・現代)		2				
	日本語表現	2					
	文学のはじまりー古代ギリシア・ローマの文学	2					
	世界の文学	2					
	教育学	2					
	根拠への問いー哲学へのとびら	2					
	宗教学概論	2					
	倫理学概論	2					
	文化人類学	2					
	異文化適応論	2					
	比較文化概論	2					
	言語学概論	2					
	スポーツ科学 A	1					
	スポーツ科学 B	1					
	域学共創プロジェクト A	2					
	域学共創プロジェクト B	2					
	域学共創プロジェクト C	2					
	域学共創プロジェクト D	2					
	域学共創プロジェクト E	2					
	域学共創プロジェクト F	2					
	域学共創プロジェクト G	2					
	域学共創プロジェクト H	2					
	域学共創プロジェクト I	2					
	域学共創プロジェクト J	2					

2. メディア共通科目群

メディア共通科目群は、学科の専門領域教育への円滑な導入を図るための基本的な概念、および基礎スキルを学習する科目を配置している。

※単位数の○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
メディア 共通科目群	メディア概論 A	②				11 単位	本 科 目 群 で は、必修科目 を含み、11 単 位以上修得の こと。
	メディア概論 B	1					
	メディア概論 C	1					
	メディア概論 D	1					
	メディア概論 E	1					
	メディア概論 F	1					
	メディア基礎演習 A	2					
	メディア基礎演習 B	2					
	メディア基礎演習 C	2					
	メディア基礎演習 D	2					
	メディア基礎演習 E	2					
	メディア基礎演習 F	2					
	デジタルメディア A	②					
	デジタルメディア B	②					

3. キャリア形成科目群

キャリア形成科目群では、円滑な学生生活を送るための基礎知識にはじまり、将来の職業を視野に入れたキャリアパス設計のための知識を学ぶ科目や、資格取得を目標にした科目を配置している。広く世界に目を向けるため、異文化理解と相互交流を目的とした海外研修科目を配置している。

※単位数の○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
キャリア 形成科目群	基礎ゼミ I A	①				9 単位	本 科 目 群 で は、必修科目 を含み、9 単 位以上修得の こと。
	基礎ゼミ I B	①					
	基礎ゼミ I C	①					
	基礎ゼミ II A		①				
	基礎ゼミ II B		①				
	基礎ゼミ II C		①				
	基礎ゼミ II D		①				
	メディア海外研修 A	2					
	メディア海外研修 B	2					
	キャリアデザイン A		2				
	キャリアデザイン B			2			
	資格取得プロジェクト A	2					
	資格取得プロジェクト B		2				

4. 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、メディア業界で活躍するために必要な基礎知識をはじめ、文化、芸術、伝統、エンタテインメント、グローバリズムに関して幅広い知識を習得するための科目を配置している。

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群	情報システム論	2				18 単位	本 科 目 群 で は、18 単位以 上 修 得 の こ と。
	プランニング	2					
	マネタイジング	2					
	クリエイティブシンキング	2					
	クリティカルシンキング	2					
	ヴァーチャルリアリティ概論	2					
	デザイン概論	2					
	エンタテインメント概論	2					
	メディア産業研究	2					
	ニューメディアビジネス	2					
	ステージ空間概論	2					
	ミュージカル研究	2					
	服飾文化研究	2					
	芸術文化研究	2					
	シナリオ研究	2					
	コンテンポラリーアート論	2					
	表現基礎 A	2					
	表現基礎 B	2					
	デッサン基礎 I	2					
	デッサン基礎 II	2					
	Web デザイン	2					
	デジタルクリエイティブ基礎	2					
	ソーシャルメディア研究		2				
	映像コンテンツプランニング		2				
	ブランディング		2				
	音楽作品研究		2				
	映像作品研究 A		2				
	映像作品研究 B		2				
	映像作品研究 C		2				
	映像作品研究 D		2				
	日米映画比較研究		2				
	English for Media Professionals I		2				
	English for Media Professionals II		2				
	しゃべりのスキル UP II		2				

5. 専門科目群

専門科目群は、ⅠとⅡ（ゼミ研究・実践）の2群で構成している。それぞれの専門領域に関する専門知識と実践能力の養成を目的とし、加えてそれらを取り巻く社会と文化、及びメディア情報環境への理解を深める為の科目を配置している。

(1) 専門科目群Ⅰ

専門科目群Ⅰは、実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基礎（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目を設置する。

【ニューメディアコース＜東金キャンパス＞】

1年次の「メディア概論」「メディア基礎演習」を通して、多様なメディアに関する基本概念や基礎技術を学んだ後、主として2年次より「メディアアート」「メディアテクノロジー」「メディアデザイン」の各分野に必要な幅広い知識と専門技術を習得するための科目を配置している。

「メディアアート」分野では、「メディアアートⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「スタジオ番組ⅠA・ⅠB」「アニメーションⅠ・Ⅱ」「サウンドデザインⅠ・Ⅱ」「デジタルレコーディングⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「デジタル映像編集ⅠA・ⅠB」「DTM作曲Ⅰ・Ⅱ」「Pro Tools 認定対策Ⅰ・Ⅱ」を配置している。

「メディアテクノロジー」分野では、「メディアテクノロジーⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「データベースⅠ・Ⅱ」「プログラミングⅠ・Ⅱ」「データ構造とアルゴリズム論」を配置している。

「メディアデザイン」分野では、「メディアデザインⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「イラストレーションⅠ・Ⅱ」「グラフィックデザインⅠ・Ⅱ」「デジタルデザインⅠA・ⅠB」「エディトリアルデザインⅠ・Ⅱ」「生活文化デザイン」「3DCG制作Ⅰ・Ⅱ」などを配置している。

「ニューメディア」を学習する学生は、全学部共通基盤科目群の「人工知能論」、専門基礎科目群の「Webデザイン」「ニューメディアビジネス」などを併せて履修し、メディアの基礎能力を高めることを推奨する。

上記のように複数のメディア分野の科目が用意されており、学生は自分の将来の進路や志望する職業にあわせて横断的に科目履修を行い、複合的なメディア能力の獲得をめざすことを期待する。

【映像芸術コース＜紀尾井町キャンパス＞】

1年次の「メディア概論」「表現基礎」「メディア基礎演習」を通して、多様なメディアに関する基本概念や基礎技術を学んだ後、主として2年次より「映像演出」「映像技術」「映像美術」「アニメーション・CG」「サウンド・音楽」「ステージ」「芸能」「エンタテインメント・ビジネス」の各分野に必要な幅広い知識と専門技術を修得するための科目を配置している。

「映像演出」「映像技術」「映像美術」「アニメーション・CG」の各分野に必要な幅広い知識と専門技術を習得するために、「映像演出」「映像撮影照明ⅠA・ⅠB」「デジタル映像編集ⅠA・ⅠB」「スタジオ番組ⅠA・ⅠB」「シナリオライティング」「映像録音ⅠA・ⅠB」「映像舞台美術」「映像舞台美術デザイン」「CG映像Ⅰ・Ⅱ」「3DCG制作Ⅰ・Ⅱ」「アニメーションⅠ・Ⅱ」「デッサン」「人体解剖学」を配置している。

「ステージ」分野では、「ステージ基礎」「ステージ運営」「ステージ総合Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ステージ衣装Ⅰ・Ⅱ」「ステージ照明Ⅰ・Ⅱ」「ステージ音響Ⅰ・Ⅱ」を配置している。

「芸能」分野では、「表現基礎演習ⅠA・ⅠB」「表現実習ⅠA・ⅡA」「表現実習ⅠB・ⅡB」「声優ⅠA・ⅠB」「ダンス実習ⅠA・ⅠB・Ⅱ」「演劇制作」「現代演芸Ⅰ・Ⅱ」「戯曲ライティング」を配置している。

「サウンド・音楽」分野では、「音楽表現基礎演習ⅠA・ⅠB」「音楽表現実習ⅠA・ⅡA」「音楽表現実習ⅠB・ⅡB」を通して表現力を高め、「音楽理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「サウンドデザインⅠ・Ⅱ」では、音楽理論や専門知識を深め、「デジタルレコーディングⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB」「DTM作曲Ⅰ・Ⅱ」「Pro Tools 認定対策Ⅰ・Ⅱ」「音響効果」を配置している。

「エンタテインメント・ビジネス」分野では、「映像プロデュース」「音楽プロデュース」「ステージプロデュース」「eスポーツビジネス」「芸能マネジメント」「サブカルチャー研究」などエンタテインメントを中心としたビジネス・コミュニケーションに関わる科目を配置している。

「映像芸術コース」では、ひとつの狭い専門性にとらわれることなく8つの分野を幅広く学び、多彩な視点から総合的な判断力、自由で豊かな表現力を身につけることを目標としている。

※単位数の○印を付してある科目は必修科目

系 列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
専 門 科 目 群 Ⅰ	データベースⅠ		2			18 単位	本科目群では、 必修科目を含 み、18 単位以上 修得のこと。
	データベースⅡ		2				
	プログラミングⅠ		2				
	プログラミングⅡ		2				
	データ構造とアルゴリズム論		2				
	メディアテクノロジーⅠA		2				
	メディアテクノロジーⅡA		2				
	メディアテクノロジーⅠB		2				
	メディアテクノロジーⅡB		2				
	メディアアーツⅠA		2				
	メディアアーツⅡA		2				
	メディアアーツⅠB		2				
	メディアアーツⅡB		2				
	イラストレーションⅠ		2				
	イラストレーションⅡ		2				
	グラフィックデザインⅠ		2				
	グラフィックデザインⅡ		2				
	デジタルデザインA		2				
	デジタルデザインB		2				
	エディトリアルデザインⅠ		2				
	エディトリアルデザインⅡ		2				
	メディアデザインⅠA		2				
	メディアデザインⅡA		2				
	メディアデザインⅠB		2				
	メディアデザインⅡB		2				
	生活文化デザイン		2				
	映像演出		2				
	シナリオライティング		2				
	映像撮影照明A		2				
	映像撮影照明B		2				
	デジタル映像編集A		2				
	デジタル映像編集B		2				
	スタジオ番組A		4				
	スタジオ番組B		2				

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
専門科目群Ⅰ	映像録音 A		2			18 単位	
	映像録音 B		2				
	映像・舞台美術		2				
	映像・舞台美術デザイン		2				
	CG 映像 I		2				
	CG 映像 II		2				
	人体デッサン		2				
	美術解剖学		2				
	アニメーション I		2				
	アニメーション II		2				
	3DCG 制作 I		2				
	3DCG 制作 II		2				
	ステージ基礎	1					
	ステージ運営		2				
	ステージ総合 I		2				
	ステージ総合 II		2				
	ステージ総合 III			4			
	ステージ衣装 I		2				
	ステージ衣装 II		2				
	ステージ照明 I		2				
	ステージ照明 II		2				
	ステージ音響 I		2				
	ステージ音響 II		2				
	表現基礎演習 A	2					
	表現基礎演習 B	2					
	表現実習 I A		1				
	表現実習 II A		1				
	表現実習 I B		1				
	表現実習 II B		1				
	声優演技 A		1				
	声優演技 B		1				
	ダンス実習 A		1				
	ダンス実習 B		1				
	ダンス実習 C		1				
	ダンス実習 D		1				

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系 列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
専 門 科 目 群 Ⅰ	音楽表現基礎演習 A	2				18 単位	
	音楽表現基礎演習 B	2					
	音楽表現実習ⅠA		1				
	音楽表現実習ⅡA		1				
	音楽表現実習ⅠB		1				
	音楽表現実習ⅡB		1				
	演劇制作		2				
	戯曲ライティング		2				
	現代演芸Ⅰ		2				
	現代演芸Ⅱ		2				
	音楽理論Ⅰ	1					
	音楽理論Ⅱ	1					
	音楽理論Ⅲ	1					
	サウンドデザインⅠ		2				
	サウンドデザインⅡ		2				
	デジタルレコーディングⅠA		2				
	デジタルレコーディングⅡA		2				
	デジタルレコーディングⅠB		2				
	デジタルレコーディングⅡB		2				
	DTM 作曲Ⅰ		2				
	DTM 作曲Ⅱ		2				
	Pro Tools 認定対策Ⅰ		2				
	Pro Tools 認定対策Ⅱ		2				
	音響効果			2			
	e スポーツビジネス		2				
	芸能マネジメント		2				
	映像プロデュース		2				
	音楽プロデュース		2				
	ステージプロデュース		2				
	サブカルチャー研究		2				

(2) 専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）

専門的な知識と実践をはかるため、ゼミ研究・実践に関する科目を配置する。

「制作演習」では、1年次より学習してきた幅広い専門知識を活かし、より高度な専門分野の研究、コンテンツ制作を実践的、総合的に学ぶ。

「総合演習」では、東金キャンパスのTVスタジオや紀尾井町キャンパスの多目的スタジオ、産学連携の日活撮影所の施設等を利用して作品制作を主に行ない、制作現場で必要とされている専門的能力を習得する。

「メディアプロジェクト」は、大学内での講義と実習授業だけでなく、コンテンツ制作やイベント制作の現場でプロフェッショナルとの協働を通して、あるいは、地域社会と連携したフィールドワークに参加することで、学生自らが問題解決能力を高め、価値の創造をめざすことを目的としている。

「プロジェクト研究 A・B・C・D」は、3、4年次の必修科目であり、各専門領域のプロジェクト研究の中から、自分の将来の職業を視野に入れ、所属するプロジェクトをひとつ選択し、各自の研究テーマをより深く追求していく。「卒業論文および制作」（4年次）では、4年間の学びの集大成として卒業論文、卒業制作に取り組む。

※単位数の○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
専門科目群Ⅱ (ゼミ研究・実践)	プロジェクト研究 A			②		12 単位	本 科 目 群 で は、必修科目 を含み、12 単 位以上修得の こと。
	プロジェクト研究 B			②			
	プロジェクト研究 C			②			
	プロジェクト研究 D				②		
	卒業論文および制作				4		
	制作演習 A		2				
	制作演習 B		2				
	制作演習 C		2				
	制作演習 D		2				
	制作演習 E		2				
	制作演習 F		2				
	制作演習 G		2				
	制作演習 H		2				
	総合演習 A		4				
	総合演習 B		4				
	総合演習 C			4			
	総合演習 D			4			
	メディアプロジェクト A	2					
	メディアプロジェクト B	2					
	メディアプロジェクト C	2					
	メディアプロジェクト D	2					
	メディアプロジェクト E	2					

6. 特設科目群

外国人留学生のための日本語科目を配置する。本科目群は、原則として指定された者のみ履修でき、修得単位は卒業単位には含まれない。

系 列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
特 設 科 目 群	日本語（言語知識）	2					指定された外国人留学生のみ履修することが できるが、卒業単位には含まれない。
	日本語（読解・聴解）	2					
	日本語 A	2					
	日本語 B	2					
	日本語 C	2					
	日本語 D	2					
	日本語 E	2					